

# 一般社団法人A-GOAL

## 2023年度事業報告書

(2023年6月1日-2024年5月31日)



# 2023年度を振り返って

ケニア・マラウイ・日本の3か国での活動が定着してきました。

ケニアでは、アフリカ最大のスラム「キベラスラム」で、子どもたちの非行防止などを目的に開催しているTAKESHI SEO & Japan presents キベラA-GOALリーグに1000名以上の子どもたちが参加しています。2023年2ndリーグ（後期シーズン）では、リーグ戦に登録しても実際の試合に来ない（もしくは遅れて来る）クラブがあるという課題が見られましたが、現地運営メンバーやコーチたちで話し合い、リーグの出場規約を作成することやリーグ戦への参加費を徴収することでリーグや参加クラブの規律は高まりました。ナイロビのサッカーアカデミーに特待生として入る子どもも増えてきています。2024シーズンからは女子リーグも開設し、195人が参加してくれました。彼女たちには、生理用品等のサポートもしています。リーグで提供する食事は年間を通して5万食以上に上りました。

このような活動には年間で200万円以上の資金が必要になりますが（円安の影響も大きい）、ネーミングライツを取得いただいている瀬尾様や2024シーズンから新たにご寄附いただいているキッコーマン社・平八社をはじめとした企業からのご協力、2023シーズンから開始したキベラリーグサポータークラブ「マジナジュア」のメンバーの皆さまからのサポートにより継続することができています。キベラスラムで発生した火災や大洪水からの復興支援でも多くの方にご協力いただき、改めて感謝申し上げます。

マラウイでは、ZATHU Cape Community Kitchen & Barが、2024年8月に2周年を迎えようとしています。これまでに84か国からのお客様にご利用いただき、Google Mapの評価も4.8と好評いただいています。地元サッカークラブへの農業支援から開始したマラウイでの活動ですが、現在は農園や食堂の運営を通して現地の人たちの雇用創出にも繋がっています。昨年度に比べて、ZATHUの売り上げで現地の活動費を賄えるようになってきていることも望ましい方向性と考えています。

日本では、駐日ケニア大使館からの依頼を受け、日本・ケニア外交60周年FUN RUNを開催しました。日本の実業団などに所属するケニア人ランナーを含む250名以上が参加し、まさに日本とケニアの友好を高める機会になったかと思えます。2023年度は日本の子どもたちとアフリカの子どもたちを繋ぐ活動も積極的に実施しました。オンラインでの交流には限界もありますが、少しでも多くの子どもたちの視野を広げる機会をこれからも作っていければと思います。

キベラA-GOALリーグ、ZATHUなどA-GOALは、アフリカに人々の生活を豊かにすることができる、また日本との交流の拠点となるプラットフォームを持っています。2024年度はこれらの拠点をさらに活用するとともに、他の国・地域での活動にもチャレンジできればと思っています。



**A-GOAL活動実績**  
(2024.6現在)

**【セネガル】**

オンライン中継イベント  
WITH PEERとの連携による  
障害者スポーツ支援

**アフリカイベント実施**

(アフリカ開発会議公式パートナーイベント  
Discover Africa・アフリカンフェスタ沼津  
茨城県ユニセフ協会連携連続セミナー・  
日本チアダンス協会連携協力懸念チャレンジ  
リーグホームゲームでのブース出展など)

**メディア掲載**

(朝日新聞・読売新聞・山形新聞等)

スポーツを通して  
日本とアフリカを繋げ  
持続可能な社会を目指す  
プラットフォーム

**【ナイジェリア】**

コロナ下での食料支援・生理用品支援  
TAIYO財団と連携し、ナイジェリア北部初の  
女子サッカー大会を開催支援 など

**【カメルーン】**

2021年9月 SPINと連携し  
A-GOALとして  
フランス語圏初の  
食料支援を実施

**【ザンビア】**

TOKYO2020で来日中の選手団に  
スポーツ用具寄贈  
インターンマッチング

**【ボツワナ】**

人類発祥の地マウンの孤児院での  
柔道教室開催  
嵐被害に対する復興支援

**【南スーダン】**

PARK社との連携による民族融和を目指す  
サッカー大会へのボール寄贈

**【ウガンダ】**

現地NGOと連携した食料支援  
Africa Challenge (運動能力測定を通じた交流  
プログラム)での交流

**【ケニア】**

コロナ下での食料支援・生理用品支援  
サッカークラブ等と連携した食糧支援  
スモールビジネスサポート  
ケベラA-GOALリーグ 開催中

**【マラウイ】**

現地サッカークラブと連携した農業支援  
「ローカル食堂」開業 (2022.8)  
村対抗サッカー大会開催  
アイデアコンテスト開催 など



# 一般社団法人A-GOAL

目的：スポーツを通じて日本とアフリカの相互扶助を推進すること

役員

代表理事：岸卓巨

副理事：草薙康子 福居恭平

理事：宮嶋泰子 竹田憲一 浅木麻梨那

監事：小林勉

役員：金森大輔 青柳直希

設立：2021年5月20日

所在地：東京都豊島区南大塚2-13-2

事業年度：6月1日~翌年5月31日

銀行：三菱UFJ銀行

プロジェクトメンバー：約30名（居住地：ケニア、マラウイ、ラオス、日本）

## 2023年度全体方針

ケニアのユースサッカーリーグ、マラウイのローカル食堂「ZATHU Cape Community Kitchen & Bar」の継続的な運営を通して、地域の課題解決に貢献するとともに、日本との交流の拠点として活用していく。また、日本において、多様な団体・個人と連携し、スポーツを通してアフリカを身近に感じられる機会を創る。A-GOALのビジョン「スポーツを軸にアフリカと日本をつなぎ、持続可能な社会の実現を目指す」を中長期的に推進していくために組織としての基盤づくりや、人材育成・活動成果発信も行う。

## 2023年度事業

1. ケニアユースサッカーリーグ運営事業
2. マラウイローカル食堂運営事業
3. プラットフォーム事業
4. アフリカイベント開催
5. 基盤整備・人材育成・成果発信

## 【ケニアユースサッカーリーグ運営事業】

### <リーグ開催趣旨>

- 2020年から実施してきたコロナ下での食料支援の中で信頼関係を築いてきたHope for Kibera Agapeの共同代表 ケン氏・コリンズ氏の発案によりユースサッカーリーグを開始。
- 子どもたちが熱中できることを作ることによる 非行防止やサッカーを通して夢を叶えられる環境を作ることが目的。



### <TAKESHI SEO & Japan presents キベラA-GOALリーグ 2023>

- 試合開催数：1,600試合

1stレグ (3月4日～5月27日) 448試合 ※2022年度事業として実施

2ndレグ (9月2日～12月10日) で1148試合

- 参加者数：約1,400人

U-9・U-11・U-13・U-15の4つのカテゴリーで合計約50チーム

- 提供した食事量：合計33,000食  
(ウガリ、ご飯、キャベツ炒め、緑豆など)

- キベラA-GOALリーグ サポーターグループ「マジナジュア」募集開始
- 株式会社唐澤農機サービスさまのご協力により日本米を提供 (10月20日・22日)
- 日本や海外からの訪問客受入

# <TAKESHI SEO & Japan presents キベラA-GOALリーグ 2024 1stレグ>

2024年3月から6月まで実施した1stレグでは、キッコマン株式会社等新たなスポンサーにも協力いただき、女子リーグの開始やリーグ参加クラブ規律向上などの成果が生まれた。

## 2024 A-GOALリーグ1stレグ報告



参加人数：1185人



総試合数：716試合



参加クラブ数：40クラブ  
(82チーム)



食事提供数：17,775食

## 2024 A-GOALリーグ1stレグ成果

### U-15女子リーグ開始



- ・U-15女子リーグチームが参加
- ・100人に毎月生活用品を配布
- ・女性のアスリートスピーカーを起用

### 規律の向上



- ・リーグオフィシャルユニフォームの導入
- ・各クラブが参加料を支払う
- ・時間厳守の意識が向上

### スカウト数UP



- ・10人が特待生でアカデミーに入部
- ・リーグレベルが向上

## 現場の声



ケン・ラシッド (A-GOALリーグオーガナイザー)

「子どもたちはリーグに参加するようになり、通や練習、試合などもやめた。今では試合がない時期でも自主的に練習をしている。皆、口々に「プロになりたい」と言っている。A-GOALは文字通り、子どもたちに夢を与えた」



シオン君 (13歳以下ケニア共和国代表)

「A-GOALリーグでプレーするようになって、代表に選ばれたり、アカデミーに入ることができた。A-GOALはプロになる最初の一步を踏み出させてくれた」

## 2024リーグパートナーの皆さま

### ネーミングライツ：潮風 武司 様



キッコマン株式会社 様

SARAYA

SARAYA株式会社 様

マシナジュアメンバーの皆さま

※マシナジュアはリーグを支える  
マシナジュアパートナーの総称です



株式会社 平八 様



with JOY 様

## <キベラスラム トイマーケット火災からの復興支援>

A-GOALがサッカーリーグを行う「キベラスラム」のトイマーケットで2023年6月11日の早朝、火災が発生。約3000棟の店々が全焼。A-GOALではクラウドファンディングを立ち上げ、集まった寄付金で緊急食糧支援を実施。

合計1080世帯にキャベツやお米などを配布しました。

6月25日にはA-GOAL3周年を兼ねて、チャリティイベントを、第1部：メタバースを活用したワークショップ  
第2部：ケニアのおやつ作り&ミニスポーツ交流会、第3部：ケニアキベラスラム大火災復興支援チャリティトークの3部立てで開催しました。

アフリカ最大のスラムで3000棟が全焼。命を繋ぐための緊急支援を開始します！

主催者 一般社団法人 A-GOAL



## <キベラスラム 大洪水からの復興支援>

2024年4月にキベラスラムで発生した大洪水の際には、日頃からリーグ戦の開催によって形成された地域のネットワークを活用し、キッコーマン株式会社やクラウドファンディングでの寄付をもとに緊急性の高い合計105家庭にマットレスや食料などを支援した。

アフリカ最大のスラムで大洪水。被災者に支援物資を届けたい！

一般社団法人 A-GOAL

大洪水に苦しむキベラの人々に  
緊急支援を開始！

生活に必要な  
・マットレス  
・毛布  
・食糧

キベラスラムに届けたい

ネクストゴール：50万円  
皆さまの協力をよろしくお願いします！



【東アフリカ ケニアでの大洪水により15万人以上が避難】A-GOALとキッコーマン株式会社が「サッカーの力」を活用した緊急支援活動を開始

一般社団法人 A-GOAL 2024年5月2日 12時12分



### 洪水被災者に向けた緊急支援

#### A-GOALによる緊急支援実施

各被災世帯にマットレス、毛布、食料も提供



2024年4月にケニアで大規模な洪水が発生



- ・支援世帯数：50
- ・予算：20万ksh (約25万円)
- ・資金：寄付 (キッコーマン)



- ・支援世帯数：55
- ・予算：22万ksh (約27万円)
- ・資金：クラウドファンディング

## <キベラリーグサポーター「マジナジュア」募集>

キベラA-GOALリーグの継続開催・発展を目的に、A-GOALとともにキベラA-GOALリーグを支えるファンクラブ「マジナジュア」の募集を開始。

マジナジュア・サポーターは毎月キベラA-GOALリーグに寄付。そのお金をサッカーリーグの運営費や食費に使わせていただく。マジナジュアとはスワヒリ語で「水と太陽」という意味。



アフリカ最大のスラム  
キベラの子どもたちに  
楽しみ・夢・食事を！

マンスリーサポーター募集中！  
ご支援のほどよろしくお願いたします

## <オンラインイベント・報告会実施>

キベラA-GOALリーグの成果や現地の様子を共有するオンラインイベントや報告会を実施。

ケニアのエンブでサッカークラブを運営している佐藤洋司氏や、ケニア初の日本人プロサッカー選手である草場勇斗氏をゲストに迎えたイベントも実施。



11月26日(日)  
20:00～21:00

オンラインイベント開催！

マンスリーサポーター募集中！！



12月9日(土) 20:00～21:00  
Facebookライブ/Zoom

A-GOALリーグ発足1年間の  
成果とは？  
現地の日本人先駆者と考える

Guest  
佐藤洋司さん  
ケニア在住25年  
サッカーチームFC Zorochi代表  
アフリカ児童教育基金の会  
(ACEF) GM

マンスリーサポーター募集中！！



Africa Business Lab Vol.63  
「アジア人初」のケニア1部リーグ  
プロサッカー選手の話！

ゲスト：草場 勇斗  
ケニア1部リーグナイロビシティスターズ(FW)

日時：2024年1月28日(日)ケニア時間13:00-15:00  
(日本時間19:00-21:00)

場所：Community House「JENGA」@ナイロビ/  
ZOOM (ハイブリッド開催)

主催：Africa Quest.Com / AIHUB / JENGA HOUSE  
共催：一般社団法人A-GOAL

草場勇斗  
ナイロビシティスターズ(FW)

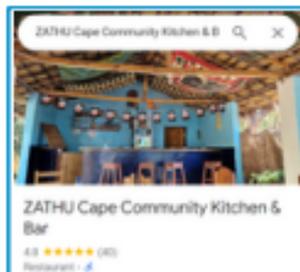
## マラウイローカル食堂運営事業

マラウイでA-GOALが立ち上げ・運営に携わっている「ZATHU Cape Community Kitchen & Bar（以下、ZATHU）」は、開業から1年11ヵ月が経過し、持続可能で美味しいローカル料理や交流の場の提供に加え、現地での雇用創出・職業訓練や地産地消に貢献している。

- ZATHUには2022年8月の開業以来、少なくとも84カ国の旅行者・研究者などが来訪。地元住民含めマラウイ人の来訪者も多数。
- Googleマップの評価は4.8
- これまでに累計約30名がZATHUでの勤務・訓練を経験し、うち5名がZATHUでの経験（スキルアップ）を通して、飲食・観光業界での就職を実現



North, Central and South America	Africa	Asia, the Middle East, and the Pacific
Canada, USA, Chile, Guatemala, Mexico, Colombia, Brazil, Argentina, Uruguay, Ecuador, Costa Rica, Venezuela, Barbados, Peru, French Guiana [15]	Malawi, Kenya, Mozambique, Zambia, Tanzania, South Africa, Uganda, Namibia, Ghana, Zimbabwe, Nigeria, DR Congo, Somalia, Rwanda, Morocco, Egypt, Cameroon, Mauritius, Senegal, Burkina Faso [20]	Japan, Nepal, Thailand, China, India, Israel, Australia, Samoa, New Zealand, Syria, South Korea, Pakistan, Vietnam, Indonesia, Sri Lanka, Malaysia, Bangladesh, Lebanon, Taiwan, Singapore [20]
Europe		
France, Belgium, Spain, England, Switzerland, Germany, Iceland, Netherlands, Italy, Sweden, Norway, Poland, Wales, Denmark, Slovakia, Scotland, Ireland, Portugal, Finland, Austria, Lithuania, Belarus, Czech Republic, Russia, Greece, Slovenia, Armenia, Serbia, Croatia [29]		



## <ZATHU 1周年イベント>

「ZATHU」1周年に合わせて記念イベントを開催

アーカイブ配信：<https://www.youtube.com/watch?v=NcYPveMqS7o>

## <スタディーツアー開催>

「ZATHU」を拠点にタイガーモブ社と連携してスタディーツアーを実施

「HANDS-ON～国際協力・実践キャンプ in アフリカ・マラウイ」

日時：2023年9月8日（金）～18日（月）

共催：Tiger Mov社

企画概要：[https://www.tigermov.com/short\\_program/detail/929](https://www.tigermov.com/short_program/detail/929)

参加者：高校生～大学生5名

ツーリズム・スポーツ・環境・文化などについて「知る」「体感する」  
様々なプログラムを実施し、後半にはアクションプランを作成・地元住民  
たちへの提案を行った。

## <クリーンアップ活動>

地域サッカークラブの子たちとゴミの仕分け活動実施

## <Solar Powered Water Supply System導入>

A-GOAL副代表の草薙が従事している研究プロジェクト（IntNRMS）を通して、本システム導入。A-GOAL共同農園で長らく懸案だった水問題が解決し、乾季に入っても1年中農業ができる状態に。

## <大使館主催イベント ブース出展>

在マラウイ日本国大使館主催天皇誕生日祝賀レセプションでブースを出展しA-GOALの活動やZATHUについて紹介(2月22日)



Happy 1st Anniversary! ZATHU Cafe Community Kitchen & Bar  
Cape Maclean, Malawi

ローカル食堂「ZATHU」の軌跡～  
オープン1周年記念イベント!

★ 日時：2023年8月27日(日)  
登壇時間 20:00-23:00  
(+ 13:00-14:00 in 日本)

★ A-GOAL Facebookページ  
にてFacebook Live!  
[facebook.com/2020AGOAL](https://www.facebook.com/2020AGOAL)

参加費 無料!

主催：一般社団法人A-GOAL A-GOAL



## <ヘディス始動>

マラウイ国立公園のメインゲートの近くにある、Mbuna Community Tourism Information Centreの敷地内にある空きスペースに特設会場を作り、ヘディス体験会を実施

## <山形新聞・読売新聞掲載>

- 2023年7月24日付の山形新聞に、山形県出身である草苺康子（A-GOAL副代表・マラウイ支部リーダー）の活動としてZATHUの活動が掲載された。
- 2024年4月21日付の読売新聞の顔Sundayというコーナーで、「地元食材活かし持続可能性追求」するA-GOALの取り組みとして、ZATHUの記事が掲載された。



## 【特筆事項】 A-GOALで培われた経験・成果・ネットワークが ケープマクレアの中長期的な社会解決に寄与

＜A-GOALの活動および成果により、信頼・社会関係資本が醸成され、地域における様々な社会貢献活動の弾み・拡大に貢献＞

- 本来ケープマクレアは社会的に複雑な村で、多様な背景の村の人々が集結して、同じ目標に向けて一緒に取り組む、ということが非常に困難な社会だった。
- A-GOALの取り組みにより、多くの個人・組織が、ケープマクレアのために一緒に取り組むことの恩恵に気づき始め、様々な活動の弾み・拡大につながっている。
  - 大規模かつ定期的なクリーンアップ・キャンペーン（サッカークラブが現在も中心グループのひとつ）
  - 観光ガイド組合・サステイナブルケープマクレア・灌漑農家・ZATHUの協力によるSustainable Agri-tour（A-GOALで共同農園を始めたことにより、持続可能な農業の関心が高まり、実践・ネットワークが広がった）
  - 外国人ボランティア団体やNGOsとの連携（食料・栄養改善、ユースとの連携）

＜ZATHUによる、地域スポーツクラブをハブにした社会課題解決に向けた貢献＞

- 職業訓練・雇用（訓練生にサッカークラブのメンバーが含まれる）
- サッカークラブによる学び・議論の場の創出（例：環境や社会貢献）
- スポーツを楽しむ場の創出（例：主要なサッカー国際試合の上映、地域スポーツイベント終了後の交流会で会場・飲食の提供）

## プラットフォーム事業

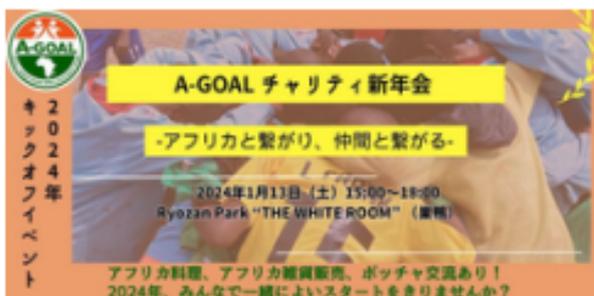
### <横浜開港記念サッカー大会でのブース出展・サッカーボール寄贈>

- サッカーJ3に所属する「横浜スポーツ&カルチャークラブ」(Y.S.C.C.)が横浜開港記念日に開催するサッカー大会に2021年・2022年に続いてブース出展。(2023年7月2日)
- 横浜開港記念サッカー大会でのゴール数に応じて(17ゴールで1球)、Y.S.C.C.からA-GOALにサッカーボールを寄贈。A-GOALが、JICA等と連携しケニアやウガンダなどにお届け、現地で活用。



## <A-GOALチャリティ新年会開催 & 能登半島地震復興支援>

- 2024年1月13日に新年会を開催  
参加者数：50名(満員) 学生～社会人、日本人、ケニア人  
内容：ポッチャやアフリカ料理、アフリカグッズの販売、A-GOALの活動紹介など
- 新年会の参加費から経費を除いた全額およびケニアでキベラA-GOALリーグを運営するケン氏、マンスリーサポーターからの寄付金(合計：97,156円)を、1月1日に発生した能登半島地震の復興支援活動に寄付。  
<寄付先> 難民を助ける会 (AAR Japan)：障害福祉施設や外国人被災者への物資支援  
ちよんまげ隊 (隊長：ツンさん)：被災地の子どもたちをJリーグに招待 (2月18日に実施)



**A-GOAL**

2024年  
キックオフイベント

**A-GOAL チャリティ新年会**

-アフリカと繋がり、仲間と繋がる-

2024年1月13日(土) 15:00～18:00  
Ryozan Park "THE WHITE ROOM" (豊洲)

アフリカ料理、アフリカ雑貨販売、ポッチャ交流あり！  
2024年、みんなと一緒によいスタートをきりませんか？



令和6年  
能登半島地震  
復興支援

今、A-GOALができること。

日本アフリカ協会(A-GOAL)が主催する「アフリカ」のイベントを開催し、被災地の復興支援活動に寄付金を提供し、被災地の子どもたちをJリーグに招待します。

～主催者 A-GOAL (http://a-goal.jp)～



## <広島崇徳高校・広島安佐ロータリークラブ「絵本プロジェクト」>

2022年度に引き続き広島崇徳高校インターアクト部の「絵本プロジェクト」に協力

- ・ケニアの子どもたちへの教育支援の一環として、日本の高校生が手づくりした絵本をケニアの子どもたちに配布
- ・対象はキベラA-GOALリーグに参加する子どもたちを中心に4000人（リーグでは2月24日・25日に配布）
- ・ケニアの子どもたちと絵本を制作した高校生をオンラインで繋ぐ交流授業も実施

### ケニアの子どもに絵本を、崇徳高インターアクト部が2作目 広島市西区

地域 広島 広島県内

2023/10/26 (最終更新: 2023/10/26)

国際的なボランティア活動にも取り組む崇徳高（広島市西区）のインターアクト部が、ケニアのスラムに暮らす子どもにオリジナルの絵本を贈る活動をしている。言葉の学習に役立ててもらおうと昨年に始め、今回が2作目。クリスマスに間に合うよう完成を急ぐ。



作成中のイラストを覗ける生徒と広島安佐ロータリークラブのメンバー

（出典）中国新聞デジタル



## アフリカイベント開催

### <青山サッカークラブとの交流イベント>

「Let's Connect with the children in Africa with SOCCER/サッカーでアフリカの子どもたちと繋がろう」というタイトルのもと、8月26日に青山サッカークラブの子どもたちとケニアの子どもたちをオンラインで繋いで交流イベントを開催

参加者：青山サッカークラブの小学生20名

ケニア「キベラスラム」、「エンブ」の子どもたち

内容：ケニアと日本をZoomで繋ぎ、「ボールつなぎ」や、日本語とスワヒリ語を用いた「伝言ゲーム」、「人間知恵の輪」をおこなった。

連携：青山で働く人のネットワーク「A-Cross」

「特定非営利活動法人 国際交流促進協議会」



### <JICA関西秋祭りへの出店・オンライン運動会開催>

- 2022年にA-GOALが中心となりJICA関西で協力隊まつりを開催したことをきっかけに、2023年はJICA関西が中心となり研修生も集まるイベントにブース出展
- 秋まつりのステージ企画として芦屋ダンスラボやWakwak for Everyoneの協力のもと、マラウイ・タンザニア・日本の子どもたちをオンラインで繋いだ運動会を開催



## <協力隊まつり出展>

4月20・21日にJICA地球ひろばで開催された「協力隊まつり」に出展。

- 活動紹介・ケニアやマラウイの物販、クイズラリー
- トークセッション『アフリカビジネスラボ Special ~JICA協力隊OBに聞くアフリカと関わり続けるキャリアの切り開き方とは?~』を一般社団法人アフリカクエストとの共催で開催
- 協力隊まつり終了後には交流会を開催



協力隊まつり  
出展団体出展  
APRIL 20-21 2024

JICA地球ひろば LUCAS+BEKI A-GOAL

CONTENT 1  
A-GOAL  
ブース

2階 国際会議場前  
2階 国際会議場前

CONTENT 2  
アフリカビジネス  
ラボ SPECIAL  
-JICA協力隊OBに  
聞くアフリカと関わり続ける  
キャリアの切り開き方とは?~

国際会議場  
国際会議場

平塚 夏樹さん  
高塚 ことるさん

Africa Quest  
Africa Quest

## <ケニアラン開催>

協力隊まつりに合わせて、GENERYSとの連携でケニアランを開催

ケニア人ランナーのルカ・ムセンビさん（北海道マラソン優勝）をゲストに迎えて皇居ランを実施

## <チャリティーラン参加>

World Runners Japan (WRJ) が主催するチャリティーリレーイベントにA-GOALチームで参加。

参加費は、タンザニアやケニアで学校給食や奨学金に活用される

A-GOAL x GENERYS  
ケニアラン  
ゲストランナー  
ルカ・ムセンビさん  
皇居ラン



## <ケニア・日本外交60周年FUN RUN企画・運営>

駐日ケニア大使館からの依頼を受け、9月24日に東京臨海防災公園でケニア・日本外交60周年を記念したランニングイベントを企画・運営

- 日本の実業団などに所属するケニア人ランナーを含む250名以上が参加
- 「エリートファンラン」「駅伝ファンラン」「親子ファンラン&宝探し」の3カテゴリー実施
- イベントの様子はケニア現地の新聞 NATIONでも紹介「外交におけるスポーツの役割」

<https://nation.africa/kenya/sports/talkup/role-of-sport-in-diplomacy-vital-4379992>



**FUN RUN**  
KENYA - JAPAN

2023年09月24日(金) 午前9:00開始  
開催場所: 東京臨海広域防災公園

- エリートファンラン
- 駅伝ファンラン
- ファミリーファンラン
- 宝物探し

参加費 無料

応募締め切り: 2023年9月15日(金) 応募はこちら

アクセス | 東京都江東区有明1丁目8番35号  
- 東京臨海広域防災公園内「国際防災センター」2階大会場  
- 03-3546-1111(受付時間: 9:00~17:00)  
- 03-3546-1111(受付時間: 9:00~17:00)

お問い合わせ | 駐日ケニア共和国大使館  
電話番号: 03-3753-4000/7 | e-mail: [kenya@japan.go.jp](mailto:kenya@japan.go.jp)



## 基盤整備・人材育成・成果発信

### <田園調布学園高校でのBOTTO PROJECT授業実施>

タイガーマーブ社からの依頼を受け、田園調布学園が実施するBOTTO PROJECTの授業を担当。「好きを伝える」をテーマに約10コマの授業で、生徒それぞれが興味を持った日本とケニアの良いところを伝えるための動画を制作。コンテスト実施。



### <GTFグリーンチャレンジデー出展>

11月5日に新宿御苑で開催された「GTFグリーンチャレンジデー」にブース出展。  
A-GOAL活動紹介・アフリカ雑貨販売・SDGsキックボリングなどを実施。



### <ブラウブリッツ秋田・福たすプロジェクト出展>

9月16日に中央大学小林ゼミとブラウブリッツ秋田が実施する「福+（ふくたす）プロジェクト」のイベントに出展。  
A-GOAL活動紹介・アフリカ雑貨販売・SDGsキックボリングなどを実施。



## <NPO TOFA スペシャル対談登場>

2月17日・18日に浜松町のアフリカ料理屋「カラバッシュ」で開催されたNPO TOFA (Talk Our Future From Africa) のイベントに、A-GOAL代表の岸とケニア支部リーダーの平塚が参加し、スペシャル対談に登壇。

## <Sport for Tomorrowイベントでの活動紹介>

東京2020大会のレガシーとしてスポーツ庁や外務省など日本政府が主導するスポーツを通じた国際協力・交流事業「Sport for Tomorrow」のイベントでケニア支部リーダーの平塚がA-GOALの活動を紹介

- SFTC会員交流会 (10月30日)

<https://youtu.be/FTNLjQFdcCo?si=jgyByiiBlp0H76dp>

- SFTカンファレンス (3月6日)

[https://youtu.be/dgZVOHeidXw?si=qOPSuwabCt7aFOF\\_](https://youtu.be/dgZVOHeidXw?si=qOPSuwabCt7aFOF_)



## <現地インターン・ボランティア受入>

ケニアやマラウイの活動現場でインターンを受入

- 土井彩優奈さん (大学生) : ケニア・マラウイ

「私は高校3年生(2021年)の時にA-GOALに入り、イベント運営や広報に携わってきました。いつかマラウイ、ZATHUへ行って食堂を訪れてみたいと思っていました。お金や食料は確かに豊かではないかもしれないけれど、楽しく毎日生きている姿からは、数字では図ることのできない「幸福さ」を感じました」

- 川瀬純一さん (大学生) : ケニア

「表彰式にも参加させていただきましたが、表彰された子どもたちの嬉しそうな顔を見ていると自分もとても嬉しかったとともに、どれほど真剣にサッカーをしてきたのかを感じることができました」



## <ホームページ・SNS・サポーター通信での情報発信>

- A-GOAL公式サイト : <https://a-goal.org/>
- Facebook : <https://www.facebook.com/2020AGOAL>
- X : [https://x.com/a\\_goal2020](https://x.com/a_goal2020)
- Instagram (A-GOAL) : [https://www.instagram.com/a\\_goal2020/](https://www.instagram.com/a_goal2020/)
- Instagram (ZATHU) : [https://www.instagram.com/zathu\\_kitchen/](https://www.instagram.com/zathu_kitchen/)
- Instagram (キベラリーグ) :
- YouTube : <https://www.youtube.com/@a-goal>
- サポーター通信 : 月1回発行  
(マンスリーサポーター・寄附者・協力者など約500名に発信)

